

事業所における自己評価結果【放課後等デイサービス】

○調査の概要

◆調査目的

放課後等デイサービスのサービスの質に関して、事業所職員の意見や評価を踏まえ、今後の通園センターの運営に役立てるための基礎資料とするため

◆調査期間

令和4年1月11日から令和4年3月18日

◆アンケート配布・回収状況

アンケート対象者 7名

アンケート回答者数 7名(回答率 100.0%)

○アンケート内容

◆環境・体制整備

1. 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか



- ・ 利用定員に対して指導室等のスペースを確保しています。室数に限りがあるため個別療育で同時に個室を使用する場合は、空いている通級指導教室を使用したり活動内容に合わせて部屋をパーティションで仕切る等、療育指導に支障がないようにしています

2. 職員の配置数や専門性は適切であるか



- ・ 基準以上の職員を配置していますが、今年度は欠員による未配置がありました。業務等を考慮しながら人員の配置と安定した体制の維持に努めています

3. 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか



- ・ お子さんの状態や特性に配慮してスロープや手すり等を設置しています。必要に応じて環境設備の充実を図っています

◆業務改善

4. 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか



- ・ 毎日の打合せや定例会議、必要に応じてミーティングを開催する等、職員間で業務内容の共通理解を図りながら支援しています

5. 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか

100.0%

はい

6. この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか

100.0%

はい

7. 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか

- ・ 外部評価は未実施ですが、本調査や保護者の方の意見等から業務改善につなげています

8. 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか

100.0%

はい

◆適切な支援の提供

9. アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか

100.0%

はい

10. 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか

85.7%

はい

14.3%

どちらともいえない

- ・ 各種アセスメントツールを活用しながら状況を把握しています

11. 活動プログラムの立案をチームで行っているか

100.0%

はい

12. 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか

100.0%

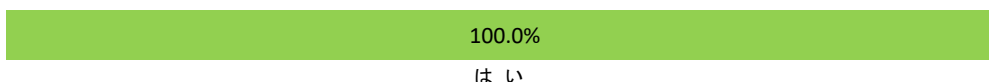
はい

13. 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか



- ・ 休日はサービスを提供していません。お子さんの状況に応じた課題を設定しながら支援しています

14. 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成しているか



15. 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか



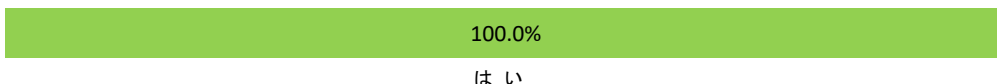
- ・ 集団で活動する場合は、担当指導員間で支援内容を共有しています

16. 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか

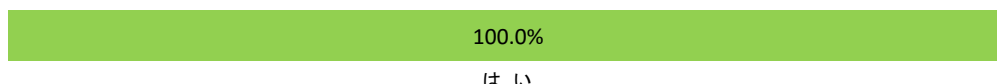


- ・ 集団で活動した場合は、担当指導員間で支援の振り返りや気付いた点を共有しています

17. 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか



18. 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか



19. ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか



- ・ 個別と集団療育にて日常生活動作の訓練や社会生活の経験等の多様な活動により、お子さんと保護者の方を支援しています

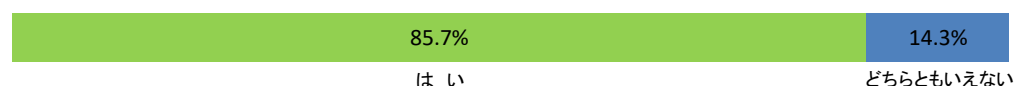
◆関係機関や保護者との連携

20. 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか



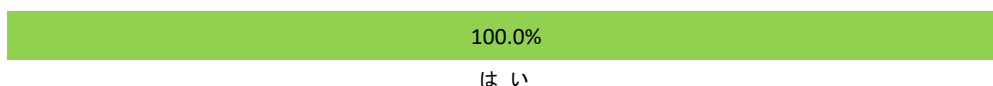
- ・ 児童発達支援管理責任者や担当者が出席しています

21. 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか



- ・ 学校の授業の様子や行事を見学したり必要に応じて連絡調整をする等、情報の共有を図っています

22. 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか



23. 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか

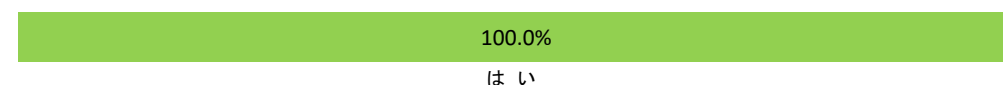


- ・ 必要に応じて連絡をしたり関係機関を訪問して情報共有する等、連携と相互理解を図っています

24. 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか

- ・ 対象となるお子さんはいませんが、必要に応じて対応します

25. 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか



- ・ 外部の専門機関から職員を派遣していただいたり現場実習を受ける等、助言や指導を受けています

26. 放課後児童クラブ(学童保育所等)や児童館等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか

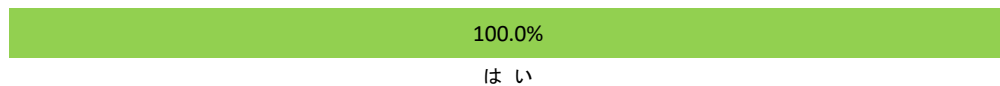
- ・療育の時間帯や移動距離により、他施設との交流は困難な状況にあります

27. (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか

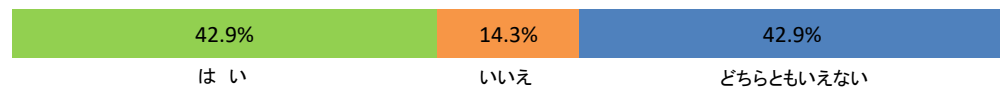


- ・管理者が自立支援協議会の事務局として参加しています

28. 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか



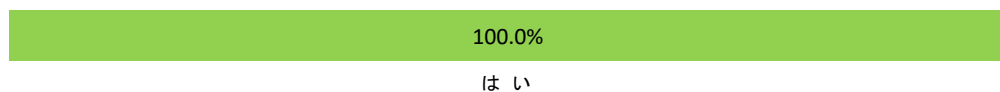
29. 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか



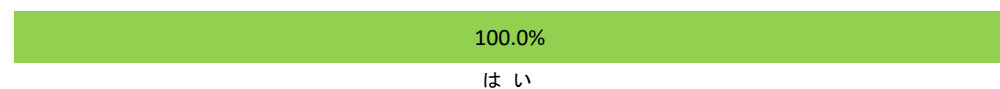
- ・ペアレント・トレーニングは実施していませんが、北海道家族支援体制整備事業を活用してペアレントメンターの派遣を依頼し、保護者に対する支援をしています
- ・保護者向けの学習会を毎年実施して支援をしています

◆保護者への説明責任等

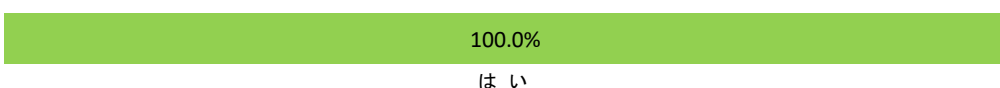
30. 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか



31. 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか



32. 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか



33. 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか

100.0%

はい

34. 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか

100.0%

はい

35. 個人情報に十分注意しているか

100.0%

はい

36. 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか

100.0%

はい

37. 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか

42.9%

はい

42.9%

いいえ

14.3%

どちらともいえない

- ・ 地域住民が参加できる行事は実施していませんが、実習生や随時の見学を受入れる等地域に開かれた事業運営を図っています

◆非常時等の対応

38. 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか

100.0%

はい

39. 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか

100.0%

はい

40. 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか

100.0%

はい

- ・ 研修に参加する機会を確保し、職場内外研修を通して職員の理解と周知を図り、虐待防止に向けた取り組みを行っています

41. どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか

- ・ 対象となるお子さんはいませんが、お子さんや保護者の方の了解のもと、適時適切な対応をします

42. 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか

- ・ 日常的に飲食する機会はありませんが、保護者の方からの情報提供等により職員間で確認して対応します

43. ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか

100.0%

はい